

平成16年
テーマ

人間探究



講座について
社会貢献事業の一つとして平成2年に始めた「尚綱公開講座」。受講し希望の方々のご期待にもっと応えたいと、昨年度の講座終了後に公開講座委員会を常設し、内容を検討してきました。その結果、現代人類が抱えるさまざまな難問題を克服するために、これから人間はいかにして生きていくべきかを改めて問い直すという意味を込め、当面のメインテーマに「人間探究」を掲げることになりました。平成16年度のサブテーマは「正しい生き様を求めて」。これからの私達の生き方について、さまざまな視点から皆で考える各講座が7月に開かれました。

7月27日(火) 9:00~10:30

食と健康 ~食物の材料とはたらき~



太田 直一
尚綱短期大学副学長
〔担当学科〕
食品学特論Ⅰ(成分)、食品学特論Ⅱ(材料)、食品学特論Ⅲ(加工)、食品学特論実験、特別研究

〔講義内容〕
食品の特性機能が、人体機能と相互作用した際に得られる働きを考察。食物成分が持つ、栄養的(生命維持)、嗜好的(感覚特性)、生理的(生体調節)の3機能のうち、病気予防をはじめ、健康に寄与する成分を含む生理機能を詳細に述べるとともに、日本の伝統的食品である大豆成分に関する長年の研究結果などを紹介しました。

7月26日(月) 9:00~10:30・10:40~12:10

心と体の健康 ~幼児の心と体(1) ~老人の心と体(2)



石橋 健治朗
尚綱短期大学
客員教授
〔担当学科〕
保育学(保育実習を含む)、小児保健Ⅰ・Ⅱ、精神保健(産産内容)

〔講義内容〕
(1)では、子どもが心も体も健康に発育するための要素として、周囲の大人による理解や指導、環境提供の大切さ、基本的な生活習慣の確立法、心理的要因で起こる病気などを紹介。(2)では、加齢とともに心身に表れる変化を説明。健やかに老いるためには、日頃の体調管理と、心の若さを保つことの重要性などを説きました。

7月22日(木) 9:00~10:30・10:40~12:10

生き物としての ヒト(1)・(2)



江口 吾朗
尚綱学園理事長
尚綱短期大学学長

〔講義内容〕
地球上に棲息する全生物の中の一生物種としてのヒトの特異性、生殖活動と社会の高齢化の説明に始まり、高度な脳の働きからもたらされた人口増加や食料問題、食料事情から引き起こされる環境破壊問題、エネルギー問題など、人類が克服を迫られている諸事情に言及。人間らしい生き方、生きる目的はどこにあるのかを探りました。

7月29日(木) 9:00~10:30、10:40~12:10

住まいの健康(1)・(2) ~快適な住環境~



石原 修
熊本大学工学部教授

〔講義内容〕
日常生活において、最も関係の深い「住まい」と健康の関係性を考察。人体の熱収支や温熱環境、空気環境をもとに、住環境から受ける人体の影響を説明し、住まいが健康的に造られていることが人の健康に繋がること、近年の住宅の問題点を踏まえ、健康創出のための健康阻害要因を排除することの重要性を説きました。

7月28日(水) 10:40~12:10

法における人間像



良永 彌太郎
熊本大学法学部長

〔講義内容〕
法律条文のもとに示される個々の人間の姿と、生身の人間の実際の姿について、市民社会と市民法、現代社会と社会法の関わりを軸に討論を展開。雇用契約分野での社会立法の登場と特色、社会保障立法にふれながら、社会福祉立法における人間像の変容、新しい思想について、自立した人間像への転換期であることを示唆しました。

7月28日(水) 9:00~10:30

人と環境



森元 克士
尚綱短期大学教授
〔担当学科〕
生物学、人間と生命、保育内容研究Ⅲ-環境、子どもと環境

〔講義内容〕
身体の生理的調節機能と環境との関わりについて、人の体温調節を中心に展開。深部体温の許容限界の狭さや、発汗などによる生理的体温調節機構の働き、マラソンの記録と気温の関係などを紹介しながら、冷暖房や住居の発達が要因と考えられる適応能力の低下を踏まえ、人間にとって本当に快適な環境とは何かを追求しました。

7月30日(金) 10:40~12:10

文房四宝と書 ~硯を中心に~(現品鑑賞)



江口 實穂喜
尚綱短期大学客員教授
〔担当学科〕書学概論Ⅰ、作品研究Ⅰ・Ⅱ、漢字創作研究Ⅰ・Ⅱ、書道科教育法Ⅱ、卒業演習

〔講義内容〕
書を学ぶ人にとって必需品である文房四宝(硯・墨・筆・紙)のうち、硯を取り上げ、その名称や古代中国から続く唐硯の歴史や種類、硯匠などについて説明。また、日本と中国との交流を通して伝わった硯の歴史や硯の種類、産地などを詳細なデータをもとに紹介し、名品を鑑賞して心を豊かにすることの大切さを説きました。

7月30日(金) 9:00~10:30

謡と囃子と舞をもって 神と心を遊ばせよ ~九州中心部の奉納能をめぐって~



木山 ロリнда
尚綱短期大学
非常勤講師
〔担当学科〕
日本文学Ⅰ・Ⅱ

〔講義内容〕
藤崎八幡宮の秋の例大祭や菊池市菊池神社の御松囃子御能、福岡県大田市近郊の宝満神社の奉納能など、全国的にも珍しい能を、映像を用いながら解説。能に対する人々の思い、人と神と政治を連繫して続いてきた伝統芸能の生命力を説き、身近な伝統芸能や行事を守ることが後世の人々に恵みをもたらすと訴えました。

7月27日(火) 10:40~12:10

人とサルの係わり ~川辺川の野生ザルと民俗~



藤井 尚教
尚綱短期大学副学長
〔担当学科〕
心理学、発達心理学、教育心理学Ⅰ・Ⅱ、青年心理学、基礎セミナー

〔講義内容〕
熊本県下で最も野生ザルの集団が密集している地域である川辺川流域に絞って、20年間にわたる生態研究と民俗学的研究をもとに、日常生活レベルにおいて、人とサルとがどのように関わってきたのかを紹介。野生ザル集団の行動域や個体数の変化、農林産物に対する被害問題、地域に残るサルに関する言い伝えなどを論じました。

**公開講座に
参加された方々の声**

延べ1005人の受講者の方から寄せられた、本年度の公開講座に対するご感想の一部を紹介いたします。

「本年度は、テキストの事前配付とともに内容も充実して、目を見張るごはかり。これが公開講座だと実感し、満足感を感じています。来年も期待しています」

「今年は、今までで一番充実していて、分かりやすく専門的な講義を受けることができました」

「私立大学の良さをあらにこちらに感じました。気持ちよく講座を受けさせていただき、有意義な1週間でした」

「今年は、講師の先生方の迫力を感じました。いろいろな質問を追究されているのだなあ、いろいろな世界があるんだなあ、興味深く聴きました。今、人生の折り返し地点におり、自分らしく、何ができるのかを考える機会になりました」